

## 令和3年第5回中古車部運営委員会議事録

○日時 令和3年9月16日(木) 13:30～

○場所 熊本県自動車会館 3階特別会議室

○参加者

坂田信治担当理事

猿渡泉運営委員長 田中隆博副運営委員長 薮(代理)副運営委員長

上村 誠委員 宮田 健委員 徳永 陽介委員 田中 直己代理

事務局 松本伸二専務 羽田野晃央事務局長

○坂田担当理事挨拶

車業界は今、新車の生産が乱れ先行きが不透明という大変な状況。そんな中でも何かやっていかないといけない。中古車市場も下取り車が入らず、玉不足が続いている。商品が少なくなり相場が跳ね上がる状況。今月も登録が思うように進まない。本当にこれまでにはなかった危機的な状況です。しかし、コロナコロナと騒いでばかりではマインドも冷え込んでしまいます。この流れを変えるためにも、景気づけとしても、今回の中古車のイベントは、是非成功させたい。皆さんよろしくお願ひします。

○猿渡委員長議事進行

議題1.「第45回ビッグ中古車フェスティバル2021」開催の可否について

開催にあたり各社の意見が出された。各委員の意見は以下のとおり。

田中副部長：あと1ヶ月後ではあるが、ワクチン接種もすすんでいる。予測ではあるが、開催出来ると考えている。

上村委員：開催(参加)する方向で考えている。

宮田委員：新車販売が厳しい中、このイベントで弾みをつけたい。問題は、玉不足であること。本部と相談し、玉不足を解消できるかがカギとなる。

徳永委員：販社単独ではできないイベント。合同でやることに意義があるとする。

田中委員：極度の在庫不足のため参加は難しい状況。

薮 代理：会社の基準では「リスクレベル」によって参加、不参加が決まる。が、開催には前向きである。

猿渡運営委員長：新車が厳しい中、中古車部として、このイベントを活用し、貢献したいと思う。

各委員の意見から、結論として開催する方向で進めていくこととなった。

次に、今後について熊日広告社・佐藤氏より再度説明がなされた。  
開催に当り、世の中は「野外コンサート」とかにはナーバスになっている状況。しかし、このイベントは、「販売会」であり、一気に密集するようなイベントではないので、感染防止対策をしっかりとって実施することで県にも了承されているとの説明があった。

資料より感染防止対策についての説明のあと、

- ① 会場レイアウト案・・・A・B・C案
- ② 広告案・・・TV, ラジオ(FMK)、WEB(ディスプレイ、リスティング) 広告  
チラシ作成(希望する販社のみ)、熊日すばいす等 (カットするかどうか後日検討)
- ③ 告知デザイン案・・・A・B案 →A案で決定
- ④ 成約プレゼント・・・カタログギフト(鶴屋 返品が可能)
- ⑤ 来場プレゼント・・・キッチンカー等 食べ物系は中止
- ⑥ JAF

等、イベント企画について説明があり、採決できる案件についてはこの会で採決された。

予算については、今後参加販社数、コマ数の確定によってコマ単価が決定されるため、参加申し込み期限である今月の24日以降に、各社に案内されることとなった。

その後、質疑応答の後、運営委員会は無事終了した。

次回部会開催予定日

25日 土曜日 13:30～ WEB会議(ZOOM)にて開催

議題:①予算について (1コマの単価)・・・参加販社数、経費の見直し等

②レイアウト案の決定

③広告案の見直し

④今後のスケジュール 等